

「はつとん」でともに考える、「変革の時代」に求められる教育・入試のあり方。

1 教育講演会

9:50~11:40

急速な学校改革に取り組む「はつとん」の今、これからの施策などについて、校長と常務理事による講演を開催します。

講演① 平井正朗 初芝富田林中学校高等学校校長

テーマ **カリキュラム・マネジメントを通じた学校改革**
～アダプティブ・ラーニングと学習者の自律～

「大阪府下を代表する進学校としての復活、新しい時代(令和)を代表する学校創り」というミッションを受けて着任して以来、カリキュラム・マネジメントを展開、「超進学校化宣言」のテーマの下、様々な学校教育改革を実践しています。今回は、1年目の成果報告、また、AI時代にふさわしいアダプティブ・ラーニング(個別最適学習)、さらに、グローバル教育・英語教育についてアプローチします。



平井正朗 PROFILE 大阪初芝学園理事、大阪市教育委員(教育長職務代理者)、国際教育学会理事。私学教育一筋。斬新な組織改革でV字回復させる手腕は有名。私立中高の学校経営や英語教育に精通し、多くの要職を歴任。

講演② 小畑力人 学校法人大阪初芝学園常務理事

テーマ **AI時代の教育を予見する**
「未来の教室」から見えてくるもの

「予測困難」あるいは「予測不可能」とも言われる時代を生徒たちは生きていきます。そこに必要な「AI×教育」は、これまでの教育を一変させます。「未来の教室」(経済産業省)を紹介しつつ、「はつとん」のICT教育の“今”と今後の展開をお話します。



小畑力人 PROFILE 平井正朗校長とともに「はつとん」改革の先頭に立つ。関西文理学院(予備校)を経て、立命館大学入試部長、和歌山大学副学長・観光学部教授、追手門学院大学社会学部教授・学部長、教職教育支援センター長などを歴任。日本観光ホスピタリティ教育学会会長。

2 公開授業&検討会

11:50~12:40

13:25~14:15

中高ともに5教科と探究学習の授業を公開。躍進する「はつとん」の授業のすべてをご覧ください。授業後には指導員による検討会を行います。

国語

- ①中学校 担当: 森本 裕貴 中2-2
 - 文学的文章の読解
 文学的文章のいわゆる「定番教材」を用いて、ICT機器活用の可能性を探ります。
- ②高等学校 担当: 前 富子 高2-8
 - 古文読解
 入試頻出の古典文法を確認しつつ、文章の内容も味わえるような授業を目指します。

理科

- ⑦中学校 担当: 山居 優 中1-1
 - 質量・体積と密度
 物質の違いを密度の観点から考えていきます。
- ⑧高等学校 担当: 森 京 高2-9理
 - 正弦波の式
 正弦波の式を単振動の式から導出し、式の持つ意味を理解させます。

社会

- ③中学校 担当: 林 員弘 中2-3
 - 自由民権運動の高まり
 国会の開設が決定されるまでの過程を、自由民権運動を通じて学びます。
- ④高等学校 担当: 仁井 泰久 高3-9
 - 地理 Bセンター演習
 センター試験形式の問題演習を通じて、図表や地図を分析する力を養います。

英語

- ⑨中学校 担当: 岡田 惇志 中1-2
 - 英語プレゼンテーション
 入学当初より行ってきた探究型英語授業。今回はグループでの発表を行います。
- ⑩高等学校 担当: 板野 花世 高2-7
 - 英語表現
 文法問題の演習および短文の解釈を通して関係詞の基礎を確認するとともに表現力の養成を目指します。

数学

- ⑤中学校 担当: 和田 直也 中1-3
 - 連立方程式の解き方
 連立方程式の解法の1つ、加減法をマスターします。
- ⑥高等学校 担当: 中村 祐輔 高1-1
 - 三角比と正弦定理
 正弦定理の導き方や、これをどう問題に活用するのかを考えます。

探究

- ⑪中学校 担当: 宮平 智子 中3-3
 - クエスト Step19
 探究的活動。プレゼン研修を受け、ICTも活用しながら、チームで構成を練ります。
- ⑫高等学校 担当: 前中 マリヤ 高1-7
 - 探究ソーシャルチェンジ
 社会の課題にチャレンジ!生徒たちが解決のためのアイデアをプレゼンします。

指導員

山崎 吉朗
日本私学教育研究所 特任研究員
日本外国語教育推進機構 理事長
東洋大学文学部教育学科 非常勤講師

笹山 幸子
元大阪府立高等学校 校長
近畿大学 教職教育部 非常勤講師

脇田 孝豪
元大阪府立高等学校 校長
摂南大学 講師
宝塚大学 顧問

他

3 パネルディスカッション

14:25~15:55

リクルート進学総研所長 小林氏による講演後、氏が語るこれからの教育をめぐって識者による公開討論会を行います。

問題提起(30分) 小林浩氏 リクルート進学総研所長

テーマ **迫る!「新テスト」後に求められる**
教育改革の方向性とは?

いよいよ「新テスト」(2021年1月)の実施が迫ってきましたが、ひとつの論点は、様々な実施上の問題点を残していることです。次に重要な論点は、「新テスト」が、新たな教育改革の“はじまり”であることです。今、私たちに問われている課題についてお話しし、パネリストの方々と議論を深めたいと思います。



小林 浩 PROFILE リクルート進学総研所長。カレッジマネジメント編集長。文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会専門委員。文部科学省高大接続システム改革会議委員。文部科学省「これからの専修学校教育の振興のあり方検討会議」委員。大学基準協会大学評価委員。日本高等教育評価機構大学評価委員など。

パネルディスカッション(60分)

テーマ **2020 新共通テストの諸問題と**
新しい進学校の姿とは?

ファシリテーター 小畑力人 学校法人大阪初芝学園常務理事

- パネリスト
- 小林浩氏
リクルート進学総研所長
- 森上展安氏
株式会社森上教育研究所所長
- 平井正朗
初芝富田林中学校高等学校校長

森上展安 PROFILE 11年間私塾を経営した後に、1988年に私立学校や塾のコンサルティングを行う研究所を設立。難関中学をめざす保護者へのアドバイスや、入試動向の分析、ソフトウェアの開発なども手がけながら、中高一貫教育の現状・将来像に関する提言を続けている。



森上展安氏